

## ヒマラヤの集い 2025 報告

日時：2025年2月22日（土）13:30~16:00

会場：コンセーレ 小ホール（宇都宮市駒生）

講師：同志社大学6回生 加藤惇史氏・中央大学3年 芦沢太陽氏

演題：「学生だけの未踏峰への挑戦」

加藤惇史さん(25歳)は作新学院高・山岳部の出身で2023年ポスト・モンスーン期(秋)に極西ネパール山域の未踏峰であるラマ峰(6527m)登頂を目指し、同志社大学山岳部・山岳会の隊員として挑戦した。結果として最高到達地点は6300mとなった。登頂は叶わなかったものの、アプローチさえも未知であったこの未踏峰の困難なルートに挫けずに挑戦しきれた。「粘り強くトライする」という加藤さんの言葉通り、2次アタックで4日間食料をぎりぎりまでつないだが、吹雪と極度の視界不良が続き登頂を断念した。「できることはやった上での撤退で、悔いはない」と感想を述べた。

芦沢太陽さん(21歳)はヒマラヤの未踏峰ブンギ峰(6524m)に2024年10月12日見事初登頂を果たした。日本山岳会学生部・ブンギ遠征隊による初登頂成功のニュースはマスコミに大きく取り上げられた。ネパール中央部にあたるアンナプルナ山域に位置するこの未踏峰に学生だけによる5人のパーティー全員が登頂を果たすという快挙だった。芦沢さんは最年少隊員で、後輩たちに経験を継承する役割も担っている。5人は青学、東大、立教(2名)、中央と別々の大学だが、「チームワークが大事」と考え可能な限り対面でのミーティングと多くのトレーニング山行を重ね、助け合いながら登頂した。

当日会場には約30名の観客が参加し、熱心に二人の報告を聴き入っていた。講演会終了後、講師を囲んで支部会会員たちと懇親会を開き、親睦を深めた。



加藤惇史氏



芦沢太陽氏



会場の様子